

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

試料・情報の利用 目的及び利用方 法	●研究の名称 好中球活性と疾患発症及び加齢との関連性の解明
	●研究の対象 （研究全体） 2019年11月20日から2025年3月31日までにPET がん検診を受診された方 （情報公開文書の対象） 2020年2月1日から2023年10月31日までにPET がん検診を受診された方 2020年2月1日から2023年10月31日までに「筋 肉関連項目の加齢による縦断的变化に関する研究」に参加 された方
	●研究の目的 好中球は、風邪や食中毒等の感染症の原因となる細菌や ウイルスに対し、活性酸素を武器として体内で最初に戦う 白血球細胞である。本研究では、好中球活性と従来マーカ ーや生活習慣、疾患との関連性を検証して、年代による比 較や縦断的な変化の観察により、疾患発症及び加齢との関 連性を解明し、予防医療に有効なマーカーとして確立する ことを目的とする。また、本マーカーを広く世の中に普及 を図るために必要となる機器開発の検証や評価等、並行し て実施する。尚、短期間でシニア層も含めた中高年の多く のデータを取得するため、PET 研究検診と一般の PET 検 診受診者の両方を対象とする。
	●研究の期間 2019年11月20日から2026年3月31日まで
	●他の機関に提供する場合には、その方法 共同研究機関へのデータの提供は、記憶媒体（DVD）に 保存し手渡しにて行うか、オンラインストレージを利用し て行います。記憶媒体に保存する場合には、個人を特定す る情報は削除し、特定の関係者以外がアクセスできない状 態で行います。対応表は、浜松 PET 診断センターの個人

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

	情報管理者が保管・管理します。
利用し、又は提供する試料・情報の項目	●研究に使用する試料・情報： 試料：血液（生化学検査用に採血した血液より分取、使用後の残血液は速やかに廃棄し保存はしない） 情報：基本検査（身体計測）データ、血液検査データ、尿検査データ、大腸病変検査データ、ウイルス性肝炎検査データ、PET・CT・MRI・超音波・DXA 検査データ、検診総合判定、既往歴・問診・服薬歴（薬剤情報） ●本文書にて提供を受けて使用する情報： 認知機能検査データ 「筋肉関連項目の加齢による縦断的变化に関する研究」で取得した骨格筋量、握力、歩行速度、大腰筋（断面積・体積）、簡易栄養状態評価表のデータ
利用する者の範囲	●共同研究機関の名称及び研究責任者 浜松ホトニクス株式会社 数村公子 浜松光医学財団 服部直也 東京慈恵会医科大学 吉田博
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	●研究責任者 浜松ホトニクス株式会社 GSCC・社内ベンチャー未病の見える化 数村公子
試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）	あなたの試料または情報を研究に使用することや、あなたの試料または情報を他の研究機関に提供することを望まない場合には、所定の手続きにより、いつでも使用や提供を停止することができます。手続き方法は、お問い合わせください。
資料の入手または閲覧	この臨床研究の計画や方法については、あなたもしくは代諾者のご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたもしくは代諾者があなたの研究結果を知りたいと希望される場合は、問い合わせ先にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。
情報の開示	あなたもしくは代諾者が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

	報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示致しません。
問い合わせ先	〒434-8601 浜松市浜名区平口 5000 浜松ホトニクス株式会社 GSCC 社内ベンチャー未病の見える化 担当者：数村公子 TEL：053-584-0200